



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 EPSホールディングス株式会社

コード番号 4282 URL <http://www.eps-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 第一経営支援グループ長 (氏名) 小山 哲弥

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	10,511	16.4	849	83.4	919	110.9	366	256.0
26年9月期第1四半期	9,027	5.5	463	△48.2	435	△49.0	103	△67.3

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 1,067百万円 (84.0%) 26年9月期第1四半期 580百万円 (△26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	10.35	—
26年9月期第1四半期	2.90	—

(注) 当社は平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	33,411	21,894	58.7
26年9月期	34,689	21,230	54.5

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 19,622百万円 26年9月期 18,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	800.00	—	10.00	—
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。平成26年9月期の期末1株当たり配当金は、当該株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金は、以下のとおりとなります。

平成26年9月期 年間 18円(第2四半期末8円、期末10円)

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,396	7.8	1,728	△10.1	1,554	△21.4	651	△27.4	17.12
通期	44,120	5.6	4,625	3.0	4,327	2.0	1,937	6.0	50.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年1月1日を効力発生日として、連結子会社である株式会社イーピーメントと株式交換を行い、新株式2,266,113株を株式会社イーピーメントの株主に割り当てました。これにより、平成27年9月期の連結業績予想の第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益は、株式交換を考慮した株式数で算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	36,160,000 株	26年9月期	36,160,000 株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	681,300 株	26年9月期	699,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	35,469,833 株	26年9月期1Q	35,527,800 株

(注)当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して株式数を算定しています。

期末自己株式数には持株会信託が所有している当社株式数 平成27年9月期1Q286,500株、平成26年9月期305,100株を含めています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産実績	11
(2) 受注実績	11
(3) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高は、国内CRO事業、国内CSO事業の大幅な増収等により、前年同期と比較して1,484百万円増の10,511百万円(同16.4%増)となり、期初計画も超過達成しました。また、連結営業利益についても、国内CRO事業、国内CSO事業の堅調な推移等により、前年同期と比較して385百万円増の849百万円(同83.4%増)となり、期初計画に対しても大幅に超過達成しました。

事業セグメント別内訳は次のとおりです。

【国内事業】

当社グループでは、国内事業は、国内CRO事業、国内SMO事業、国内CSO事業の3つのセグメントで展開しています。

・国内CRO事業

国内CRO事業は、当社、派遣型CRO業務の株式会社イーピーメイト、医薬・医療系IT関連業務のイートライアル株式会社および前期に株式を取得した株式会社EPSアソシエイトの4社において事業を展開しています。

国内CRO事業を業務別でみると、モニタリング業務は、営業面での積極的対応および獲得した案件の確実な推進を行い、売上高、営業利益ともに堅調に推移しております。データマネジメント業務は、堅調な受注を背景に、売上高、営業利益ともに予定を超過して推移しております。一方、臨床研究、医師主導治験および医療機器の支援業務は、売上高が予定に対して若干未達となったものの営業利益は予定どおり推移しております。派遣型CRO業務は、売上高、営業利益ともに堅調に推移しております。医薬・医療系IT関連業務については、売上高が予定に対して若干未達となったものの営業利益は堅調に推移しました。株式会社EPSアソシエイトは、管理体制の再構築を進めるとともに、営業体制の強化を図り、売上高および営業利益ともに予定を超過して推移しております。

その結果、国内CRO事業における売上高は、前年同期と比較して、850百万円増の5,756百万円(同17.3%増)となりました。利益面においては、営業利益は、前年同期と比較して、433百万円増の917百万円(同89.5%増)となりました。

・国内SMO事業

国内SMO事業は、株式会社イーピーメントにおいて事業を展開しています。

国内SMO事業における売上高は、前年同期と比較して42百万円減の1,458百万円(同2.8%減)となり、営業利益は、前年同期と比較して119百万円減の28百万円(同80.6%減)と大幅な減益となり、売上高、営業利益ともに期初計画を下回りました。主な要因としては、受注に関しては概ね期初計画通り推移したものの、受託済案件の進捗が第2四半期以降にずれ込む状況となり減収となったことに加え、採用強化、本社移転、新規出店による先行投資的費用の人件費、経費が増加したこと等です。

・国内CSO事業

国内CSO事業は、株式会社EPファーマラインにおいて事業を展開しています。

国内CSO事業における売上高は、前年同期と比較して220百万円増の1,680百万円(同15.1%増)となり、営業利益は、前年同期と比較して61百万円増の120百万円(同103.7%増)となりました。期初計画に対しても、売上高、営業利益ともに上回りました。主な要因は、コールセンター業務の活発な受注やPMS業務が順調に推移したことにより売上げを伸ばしたことと、効率的な人員配置や経費の抑制等により利益が増加したことによるものであります。

【海外事業】

海外事業は、Global Research 事業、益新事業の2つのセグメントで展開しています。

・Global Research 事業

Global Research 事業は、EPS インターナショナル株式会社と海外グループ会社で構成されており、中国を含む東アジアおよび東南アジアを中心に事業を展開しています。

売上高は、大型のアジア治験受注・海外グループ会社によるプロジェクト獲得など新規受注が好調だったことに加え、実施中のプロジェクトが順調に進捗したことにより、前年同期と比較して180百万円増の564百万円（同46.8%増）と大きく増収となりましたが、期初計画に対しては未達となりました。営業損失は、前年同期と比較して19百万円減少し103百万円となりました。

・益新事業

益新事業は、EPS 益新株式会社と益新（中国）有限公司およびその海外グループ会社で構成されています。EPS 益新株式会社は日本国内からの益新事業全体の管理およびサポート、益新（中国）有限公司は現地における事業の統括を行っています。

益新事業における売上高は、医療機器関連商品の販売が好調に推移したこと等により、前年同期と比較して231百万円増の1,013百万円（同29.5%増）で、増収となり、期初計画に対しても上回りました。営業損失は、前年同期と比較して34百万円減少し84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末における総資産は、33,411百万円と前連結会計年度末から1,278百万円減少しました。

流動資産では、主に現金及び預金が1,547百万円、その他の流動資産が564百万円それぞれ減少した一方で、有価証券が139百万円、商品が373百万円、仕掛品が230百万円それぞれ増加したことなどにより1,491百万円減少して23,055百万円となりました。固定資産では、主として有形・無形固定資産が177百万円、投資有価証券が60百万円増加したことなどにより213百万円増加して10,355百万円となりました。

負債の部においては、主に未払法人税等が1,534百万円、賞与引当金が756百万円減少した一方で、その他の流動負債が460百万円増加したことなどにより、当四半期末における負債合計は7,290百万円と1,941百万円減少しました。

純資産の部では、主に為替換算調整勘定が647百万円増加した一方で、少数株主持分が40百万円減少したことなどにより、当四半期末における純資産の部は663百万円増加して21,894百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が915百万円となり、売上債権の減少が166百万円、その他の流動負債の増加が368百万円あった一方で、賞与引当金の減少が760百万円、法人税等の支払による支出が1,731百万円それぞれあったことなどにより992百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1,339百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に有形及び無形固定資産の取得による支出を99百万円、敷金及び保証金の差入による支出を37百万円行ったことなどの結果、135百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比905百万円減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に長期借入金の返済を111百万円、株主及び少数株主に対する配当金の支払を406百万円行ったことなどにより、503百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比414百万円増加）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は10,300百万円（前年同四半期連結累計期間比784百万円減少）となりました。

なお、連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,339	△992
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	△135
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△89	△503
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	245	239
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	455	△1,392
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	10,629	11,692
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	11,084	10,300
減価償却費	109	114
のれんの償却額	63	79

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月6日に平成26年9月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

なお、当社は、平成27年1月1日を効力発生日として、当社が有するCRO事業に関する権利義務を当社の完全子会社であるイーピーエス分割準備株式会社(同日付にてイーピーエス株式会社へ商号変更)に吸収分割の方法により承継し、同日付でEPSホールディングス株式会社に商号変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した「単一の加重平均割引率を使用する方法」(デュレーションアプローチ)へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の期首において退職給付に係る負債が138百万円及び繰延税金資産が49百万円それぞれ減少し、利益剰余金が89百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。) および 「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。) 等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、子会社株式追加取得等において支配が継続している場合の子会社に対する親会社の持分変動の取扱い、取得関連費用の取扱い、暫定的な会計処理の取扱いについて早期適用いたしました。

なお、これらの会計基準等の適用による四半期連結財務諸表への影響については、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,680	9,133
受取手形及び売掛金	8,613	8,493
有価証券	1,067	1,206
商品	813	1,186
仕掛品	695	925
その他	2,702	2,138
貸倒引当金	△25	△27
流動資産合計	24,547	23,055
固定資産		
有形固定資産	2,771	2,937
無形固定資産		
のれん	1,512	1,511
その他	692	704
無形固定資産合計	2,205	2,216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,938	1,999
敷金及び保証金	1,504	1,479
その他	2,025	2,025
貸倒引当金	△303	△303
投資その他の資産合計	5,165	5,201
固定資産合計	10,142	10,355
資産合計	34,689	33,411
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,040	1,054
短期借入金	715	715
1年内返済予定の長期借入金	444	444
未払法人税等	1,757	223
賞与引当金	1,130	374
受注損失引当金	41	11
その他	4,009	4,469
流動負債合計	9,137	7,290
固定負債		
長期借入金	2,746	2,635
役員退職慰労引当金	241	218
退職給付に係る負債	761	776
資産除去債務	352	380
その他	218	215
固定負債合計	4,320	4,226
負債合計	13,458	11,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,826	1,826
利益剰余金	14,670	14,679
自己株式	△653	△632
株主資本合計	17,718	17,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△262	△239
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	1,461	2,108
退職給付に係る調整累計額	1	5
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,874
少数株主持分	2,312	2,271
純資産合計	21,230	21,894
負債純資産合計	34,689	33,411

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,027	10,511
売上原価	6,642	7,690
売上総利益	2,384	2,821
販売費及び一般管理費	1,921	1,972
営業利益	463	849
営業外収益		
受取利息	9	22
契約違約金収入	-	70
その他	40	82
営業外収益合計	49	175
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	33	38
持分法による投資損失	30	46
その他	5	12
営業外費用合計	76	104
経常利益	435	919
特別利益		
持分変動利益	16	-
特別利益合計	16	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3
特別損失合計	-	3
税金等調整前四半期純利益	452	915
法人税、住民税及び事業税	24	227
法人税等調整額	317	314
法人税等合計	342	541
少数株主損益調整前四半期純利益	109	374
少数株主利益	6	7
四半期純利益	103	366

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109	374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	23
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	505	585
退職給付に係る調整額	-	4
持分法適用会社に対する持分相当額	23	79
その他の包括利益合計	470	693
四半期包括利益	580	1,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	547	1,041
少数株主に係る四半期包括利益	32	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内CRO 事業	国内SMO 事業	国内CSO 事業	Global Research 事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,738	1,414	1,439	368	761	303	9,027	—	9,027
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	167	86	19	16	20	195	506	△506	—
計	4,906	1,501	1,459	384	782	499	9,533	△506	9,027
セグメント利益	484	148	59	△122	△118	6	456	6	463

(注) 1 セグメント利益の調整額 6 百万円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内CRO 事業	国内SMO 事業	国内CSO 事業	Global Research 事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	5,517	1,451	1,671	547	1,008	315	10,511	—	10,511
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	239	7	8	16	5	209	487	△487	—
計	5,756	1,458	1,680	564	1,013	525	10,998	△487	10,511
セグメント利益	917	28	120	△103	△84	△38	840	8	849

(注) 1 セグメント利益の調整額 8 百万円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでおります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日) (百万円)		前年同期比(%)
国内CRO事業			
モニタリング業務		3,211	115.0
データマネジメント業務		2,045	119.5
CROその他業務		564	119.9
国内CRO事業計		5,822	117.0
国内SMO事業		1,451	102.7
国内CSO事業		1,671	116.0
Global Research 事業		512	138.0
益新事業		1,003	131.9
その他		319	107.6
合計		10,780	116.4

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(2) 受注実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
国内CRO事業				
モニタリング業務	2,874	123.0	17,551	116.6
データマネジメント業務	2,052	128.2	14,457	113.8
CROその他業務	133	11.6	1,470	56.1
国内CRO事業計	5,059	99.5	33,478	110.2
国内SMO事業	1,621	85.2	8,211	106.5
国内CSO事業	1,426	120.5	4,518	117.5
Global Research 事業	2,408	250.8	5,787	133.0
益新事業	1,058	124.2	100	66.9
その他	306	101.3	124	100.3
合計	11,881	115.4	52,222	112.1

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(3) 販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日) (百万円)	前年同期比(%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	3,159	113.2
データマネジメント業務	1,864	123.7
CROその他業務	493	112.3
国内CRO事業計	5,517	116.4
国内SMO事業	1,451	102.6
国内CSO事業	1,671	116.0
Global Research 事業	547	148.8
益新事業	1,008	132.4
その他	315	103.7
合計	10,511	116.4

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。